

平成28年4月8日(金)に全日制課程第71回入学式が快晴の空の下天草高校体育館にて行われました。今年度は、男子116名・女子128名、計244名の新入生を迎えました。新担任を先頭に入場する姿は、天高生としての自覚と決意に満ち、堂々として立派なものでした。



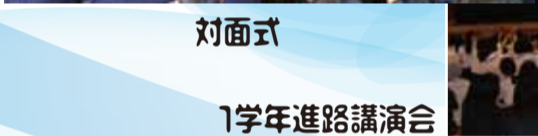
4月



入学式後の教室での様子



対面式



1学年進路講演会



4月 入学式



新入生総代 1組松下優さん



天高育友会報
平成28年7月19日発行
発行 県立天草高校育友会
編集 天高育友会文化広報委員会
印刷 ワタナベデザイン

平成28年4月8日(金)に全日制課程第71回入学式が快晴の空の下天草高校体育館にて行われました。今年度は、男子116名・女子128名、計244名の新入生を迎えました。新担任を先頭に入場する姿は、天高生としての自覚と決意に満ち、堂々として立派なものでした。



家庭科実習 味噌作り



体育大会応援練習

6月

5月

子どもたちの未来のために



育友会会長 津田 博之

今年度、育友会会長を務めさせていただきます津田博之です。

この度の熊本地震でお亡くなりになられた方々、被災された方々にお悔やみとお見舞いを心より申し上げます。復興には時間がかかると思いますが一日も早く元の生活に戻れるようお祈り致します。

さて、新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中学校までの義務教育が終わり自らの意志で天草高校に入学された皆さんは、将来の夢や希望に満ち溢れていることでしょう。これからの三年間は勉強に励むのももちろん、部活動を含めた学校生活を一生懸命取り組むことで自身の将来が見えてくると思います。一生無二の友人を作り、尊敬できる先生との出会いで心身ともに大きく成長する三年間となるよう願っています。

三年生の皆さん、総体お疲れさまでした。部活動が一区切りつき、自分の目標に向けての再スタートをしていることでしょう。これからは自分自身との勝負です。目標を達成するために妥協することなく知力を高めていってください。

二年生の皆さん、一年過ぎたの高校生活はいかがですか？部活は正味あと二年間しかありませんので、悔いの無いよう活動してください。今年度は学校創立120年の大きな節目の年です。夢を抱いて集う生徒達と生徒の夢と向き合う先生方、また天草高校を応援して下さる全ての皆様のおかげで、120年続いたことなのでしょう。その時代の時代に合わせた進化が、長く続いてきた天草高校の良き伝統ではないでしょうか。これからも天草地域の拠点校としての役割を担い、輝き続けて欲しいものです。保護者の皆さま、子どもたちの将来のために今やるべき事をしっかりと模索して育友会活動を行っていきましょう。特に、文化祭・マラソン大会はお世話になると思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。子どもたちの健全な成長と天草高校の更なる発展の為に学校・保護者・地域の皆様一丸となって歩んでいきましょう。一年間よろしくお祈り致します。

熊本地震で感じたこと



校長 前田 三千治

今年度が始まってすぐの4月14日と16日に、熊本地震が発生しました。幸い天草地方は甚大な被害はなかったのですが、親族や知り合いに被災された方もいらっしゃいます。観光面ではゴールデンウィーク期間中の宿泊キャンセルが二万件もあり売り上げが60%も減少したとも言われており、心からお見舞いを申し上げます。心から一日でも早く平穏な普通の日々が戻ることを願っています。

被害が大きかった地域の学校では、5月9日頃まで休校となり、学校が再開しても使えない施設があり教育活動にも支障があるようです。休校の間、学校に避難されている方のお世話をしたり、復旧支援のボランティア活動に参加した生徒もいたようですが、勉強したくても授業がない状態に三年生は相当焦ったのではないのでしょうか。また、高校総体前であるのに体育館やグラウンドが被害を受けていたり、避難場所になっていたり練習ができないう状態でした。

学校で授業や部活動があるのは当たり前であり、そうではない状況になったとき初めて人は平穏な日常の有り難さを認識することになるのでしょう。ようやく学校が再開した時、災害を体験して戻ってきた者達の顔つきは変わり、何事にも真剣に取り組むようになったと、大学・高校関係者から聞きました。当たり前と思っていたことが実はそうではないことを知り、当たり前前のご苦労を感謝しながら過ごすようになったそうです。

感謝といえば、今回の熊本地震で多くの支援を各方面から熊本は受けました。「DMAT(災害派遣医療チーム)」や「災害派遣」と書かれた県外ナンバーの車や災害ボランティアに来られた人を数多く見ました。支援した人の中には、これまでの大震災で被災したので、そのお礼にと来られた方も多くおられます。これから先もどこかで災害があるでしょうから、熊本が今回受けた恩は、次のところへの支援で返していくことになるでしょう。

見つけた 目標に向かって



1年5組 周詞美美香

私は入学当初、自分は何を頑張っていけばよいか、先が見えない不安でいっぱいでした。毎日誰かの指示によって動き、自分で考えて行動することがありませんでした。しかし、入学して約3カ月経った今、以前よりは見通しを持つことができ、毎日何か目標をもって生活できるようになりました。そんな生活は、一日一日自分が少しずつ前進しているようで楽しいです。それと同時に、学習と部活動の両立の難しさも実感しています。まだ生活のリズムが整っていません。両立にはまだ時間がかかります。しかし、天高のテーマである「文武両道」に少しでも近づけるように頑張ります。今私は、はつきりとした自分の目標を持っています。これから、それを達成できるように最大限の努力をしていきたいです。

熊本地震 被災地支援の取り組み



6月18日 西原村農業支援ボランティア

今年4月におきた熊本地震。県内各地で家屋の倒壊やライフラインの損壊、さらには人命を奪う大きな被害が発生しました。地震により奪われた生活を再開できず、今なお避難生活を余儀なくされている人も多くおられます。幸いにも天草は、被害が少なかったのですが、ご家族、親戚、友人などが被災され、心を痛められた方もおられると思います。また、被災された地域に対して、「何かできることはないか」、「何か手助けしたい」と思いを抱いた人も多いため、この思いを実行に移すことができました。天高生がいいます。一例ではありますが、4面でご紹介します。